

開催報告



あぐりフレンズ・東京 親子で学ぶ東京の農業 2019

今年は、足立区・葛飾区・江戸川区等のエリアで事業を展開されている JA 東京スマイルを訪問しました。収穫体験を通して都市農業の役割や伝統を親子で学びました。生産者から収穫した野菜についてのお話を伺い、更に知識も深めることができました。

開催日時：2019年7月26日（金）
9：00～16：00

参加人数：61名

一般参加者41名（うち子ども21名）

生産者3名、JA東京スマイル6名

JA東京中央会3名、農水省2名、

東京都生協連5名

主催：JA東京中央会/東京都生協連

後援：東京の協同組合連絡協議会



さあ！
出発だよ



ブルーベリーの収穫体験

【葛飾区：柴田ブルーベリー観光農園】



下から覗いてみると大きな実を見つけやすいよ♪

農園内には、たくさんの種類のブルーベリーが植えられていて、酸味や甘味が強いなど、それぞれ特徴がありました。参加者のみなさんは、自分好みのブルーベリーを探し収穫していました。時には珍しいお客様、クワガタやカブトムシが飛んでくることもあるそうです。



違う味を
ミックスして
食べても
おいしいよ！



色の濃いブルーベリーがあったよ！

枝豆の収穫体験 【葛飾区：岡安農園】

すごい、畑の土がフカフカしてる！

住宅と住宅の間に緑の葉がゆらゆら。枝豆畑（300坪）は先の道路まで続いています。畑はこちらの他にも10か所あるそうです。都市の畑は住宅地の中に点在しているのです。



【おすすめ保存方法】

きょう収穫した枝豆は、根をつけたまま水を張ったバケツに入れて、涼しい所で保管をすれば2～3日は鮮度が保たれるよ！



見てみて！
いっぱい採れたよ～

ヨイショ、ヨイショ！



あぐりフレンズ・東京とは・・・

JAと生協が協同することで、消費者と生産現場の架け橋になり、東京の農業の活性化につなげたいと、2006年よりJA東京中央会と東京都生協連の共催で取り組んでいる協同組合間の連携企画です。

JA 東京スマイル 直売所「あだち菜の郷」



移動販売車



昼食は
足立区産野菜
たっぷりのお弁当



主催者挨拶

こちらは23区内で農業が存続している数少ない地域の一つ。毎年11月には、食農教育活動として小中学校で小松菜一斉給食を実施しています。地域に根差し都市農業を守っていきます。



JA東京スマイル
西野常務理事



JA東京中央会
榎本専務理事



東京の農家さんは1万1千戸。都市農業の役割は防災など多面的機能をもっています。美味しく食べて東京の農業を守ってほしいです。



東京都生協連
秋山専務理事

私たちの身近なところで野菜や生花など大切に育てている人がいます。都市農業の応援団になってほしいです。

小松菜誕生物語(紙芝居): 宇佐美 一彦さん



小松菜は江戸時代から食べられていたんだよ

色々な野菜があるね

~野菜クイズ~ 小松菜はどれでしょう?



小松菜の収穫体験 【足立区: 宇佐美農園】

夏は、早朝4時から作業スタート。体験のために遮熱シートを屋根にかけ収穫しやすく準備してくださいました。



この時期は20日で収穫可能



参加者アンケートより~抜粋~

◆おとな

- ・23区にこんな農場があるとは知りませんでした。エコロジーのためにも地産地消を推進したいです。災害時に強いという点をもっと知りたくなりました。
- ・23区内で農業について全然知りませんでした。ブルーベリー、枝豆など、実際に目にして、とても農業を身近に感じました。
- ・都内で野菜が育てられていることを知り、都内の野菜をこれから買っていきたいと思いました。

◆子ども

- ・ブルーベリーは、いろいろなしゅるいがあることを学びました。
- ・えだ豆は、なえ一本にたいしていっぱい実がついていることがわかりました。
- ・こまつながビタミンCがあるってしらなかったです。
- ・やさいのしゅうかくが楽しかった。
- ・やさいがつくられていることはしっていたけど、こまつななどをそだてているとはしらなかったので今日でよくわかりました。